

インテル[®] C++ Composer XE 2011 Windows* 版

－ インストール・ガイド －



エクセルソフト株式会社

www.xlssoft.com

Rev. 1.0 (2010/12/02)

－ 目次 －

1. はじめに	3
2. 製品コンポーネント	3
3. 動作環境	4
4. インストールする前に	5
5. 製品購入者と評価ユーザー	6
6. インストール手順	7
6-1. 製品の登録	7
6-2. 製品のインストール	9
7. プログラムの追加と削除	16
8. 最後に	17

1. はじめに

本ドキュメントでは、インテル® C++ Composer XE 2011 Windows* 日本語版（以下、本製品）のインストール手順を説明します。

本製品には、インテル® C++ コンパイラー本体に加えて、インテル® パフォーマンス・ライブラリー（IPP、MKL、TBB）が含まれており、アプリケーションのパフォーマンス向上を支援するツール群となっています。また、本製品はマルチ言語に対応し、英語および日本語の言語環境が含まれています。インストールされる言語は Windows システムの言語設定により自動選択されます。

本製品をインストールするには、あらかじめシステムに Microsoft* Visual Studio* のビルド環境が必要となります。これは、本製品が Visual Studio* の開発環境およびリンカー等を使用するためです。本製品は Microsoft* Visual Studio* 開発環境に統合することに操作性を高め、より効率的な開発作業環境を提供します。

2. 製品コンポーネント

本製品には以下のコンポーネントが含まれます。

1. インテル® C++ コンパイラー XE バージョン 12.0
 - IA-32 対応アプリケーション用 C++ コンパイラー
 - インテル® 64 対応アプリケーション用 C++ コンパイラー
2. インテル® マス・カーネル・ライブラリー（インテル® MKL）バージョン 10.3
 - IA-32 対応アプリケーション用 MKL
 - インテル® 64 対応アプリケーション用 MKL
3. インテル® インテグレートッド・パフォーマンス・プリミティブ（インテル® IPP）バージョン 7.0
 - IA-32 対応アプリケーション用 IPP
 - インテル® 64 対応アプリケーション用 IPP
4. インテル® スレディング・ビルディング・ブロック（インテル® TBB）バージョン 3.0
 - IA-32 対応アプリケーション用 TBB
 - インテル® 64 対応アプリケーション用 TBB
5. インテル® Parallel Debugger Extension バージョン 12.0

3. 動作環境


本製品でサポートする開発システム環境は以下のとおりです。


【オペレーティング・システム】

- Microsoft Windows* XP (x86 または x64 Edition)
- Microsoft Windows Vista* (x86 または x64 Edition)
- Microsoft Windows Server* 2003 (x86 または x64 Edition)
- Microsoft Windows Server* 2008 (x86 または x64 Edition)
- Microsoft Windows* 7 (x86 または x64 Edition)

【Microsoft Visual Studio】

- Microsoft Visual Studio 2005 Standard Edition 以上
- Microsoft Visual Studio 2008 Standard Edition 以上
- Microsoft Visual Studio 2010 Professional Edition 以上

 Note : 本製品をコマンドライン上からの利用に限定するならば、Visual Studio 2005/2008 Express Edition などのバージョンを使用することもできます。
詳細は、製品のリリースノートを参照してください。

 Note : インテル® 64 対応アプリケーションを作成する場合は、Visual Studio に予め x64 開発環境がインストールされている必要があります。この x64 開発環境は、Visual Studio 2005 または 2008 の Standard Edition の場合はデフォルトでインストールされますが、Professional Edition 以上ではカスタム・インストールまたは追加のインストールを行い、以下の図のように x64 開発環境を明示的に追加する必要がありますのでご注意ください。



なお、Visual Studio 2010 では、どのバージョンでもデフォルトで x64 開発環境がインストールされます。

4. インストールする前に

インストールする前に、以下の内容にご注意ください。

- 本製品は Visual Studio が必要となりますので、サポートされる Visual Studio が正しくインストールされていることを確認してください。また各種サービスパックも適宜インストールすることをお勧めします。なおサービスパックをインストールした際は、Visual Studio が管理者権限で正しく起動することをあらかじめ確認してください。
- Visual Studio が起動されていないことを確認してください。
- システムに 4 GB 以上の空き容量があることを確認してください。
- インストールは、管理者権限のあるユーザーで実行してください。
- システムに本製品と異なるバージョンのインテル® コンパイラー製品がインストールされている場合、あらかじめこれらの製品をアンインストールする必要はありません。基本的に、本製品と既存バージョンの製品を共存させることができます。しかし、「Visual Studio への統合」環境は、本製品のバージョンのモジュールに上書きされます。この新しい「Visual Studio への統合」環境からは、既存のコンパイラーを選択して使用することができます（ただし、インテル® コンパイラー バージョン 11.0 以上）。なお、本製品をアンインストールした際は「Visual Studio への統合」環境も削除されますので、今まで使用していたインテル® コンパイラーの「Visual Studio への統合」環境コンポーネントを再インストールする必要があります。

5. 製品購入者と評価ユーザー

製品購入者・・・ご購入いただいたシリアル番号をご用意いただき、次章の「6. インストール手順」に従ってインストールを行ってください。

なお、既に本製品の評価版がインストールされている場合は、特に再インストールの必要はありません。ご購入いただいたシリアル番号を用いて製品の登録（「6-1. 製品の登録」を参照）を行い、ライセンスファイル（拡張子が .lic のファイル）を取得してください。その後、取得したライセンスファイルを以下のディレクトリーに配置すれば、製品版として使用することができます。

C:\Program Files\Common Files\Intel\Licenses (x86 システムをご利用の場合)

C:\Program Files (x86)\Common Files\Intel\Licenses (x64 システムをご利用の場合)

評価ユーザー・・・本製品の評価を行うには、まず弊社「評価版ダウンロード」サイトから評価版の申請を行ってください。申請が完了すると製品パッケージのダウンロード先がメールで通知されます。評価版のインストールには、評価ライセンスを使用する方法と、評価ライセンスを使用しない方法があります。

「評価版ダウンロード」サイト

<http://www.xlsoft.com/jp/products/intel/download.html>

評価ライセンスを使用する場合は、インテル社の「インテルソフトウェア評価センター」から評価ライセンスの申請を行ってください。申請を行うと評価用のシリアル番号とライセンスファイルがメールで通知されます。インストールは、本ドキュメントに従い、取得したシリアル番号またはライセンスファイルを使用してインストールを行ってください。

「インテルソフトウェア評価センター」

<http://software.intel.com/en-us/articles/intel-software-evaluation-center/>

評価ライセンスを使用しない場合は、インストールの [アクティベーション・オプション] 画面 (10 ページの手順⑤を参照) で、“製品を評価する (シリアル番号不要)” を選択してインストールを行います。この場合は、評価ライセンス情報がシステムレジストリーに追加されます。




Note : 評価ユーザーは、製品の登録 (6-1. 製品の登録) を行う必要はありません。

また、本製品の評価は、機能制限なしで 31 日間使用することができます。

6. インストール手順

本製品をインストールするにあたり、まずご購入いただいたシリアル番号 (XXXX-XXXXXXXX) を使用してインテル社に製品を登録する必要があります。登録が完了すると、インテル社からライセンスファイルが添付された電子メールが届きます。インストール作業は、“シリアル番号” または取得した “ライセンスファイル” を使用して行うことができます。製品の登録が既にお済みの場合は「6-2. 製品のインストール」に進んでください。

 **Note:** 評価ライセンスをご使用の場合はこの登録は必要ありません。評価ライセンスを申請した際、シリアル番号とライセンスファイルが通知されるので、そのまま「6-2. 製品のインストール」に進んでください。インストールは、シリアル番号、またはライセンスファイルを使用できます。

6-1. 製品の登録

製品の登録を行うには、購入したシリアル番号が必要となります。以下の手順を参考に慎重に登録作業を行ってください。

- ① インテル® レジストレーション・センターにアクセスします。

<https://registrationcenter.intel.com/RegCenter/Register.aspx>

- ② [製品の登録] メニューで、メールアドレスおよびシリアル番号を入力してください。製品に関する情報配信をご希望の場合はチェックボックスにチェックして、[製品の登録] ボタンをクリックしてください。なお、ページ右側のペインで表示言語を選択することができます。



言語を選んでください

ユーザーフォーラム

インテルの専門家やインテル® ソフトウェア開発製品を使用している他の開発者との意見交換

ユーザーフォーラム

Registration Center Top FAQs

Where can I buy or renew?

Where can I find my serial number?

How do I change floating license host/ server info?

ナレッジベースにアクセス

製品の登録

登録ユーザーのログイン

登録ユーザー: アカウントにログインして、登録した製品の確認、アカウント管理、アップデートのダウンロード、テクニカルサポートなどをご利用いただけます。

登録ユーザーのログイン >

ログイン ID の再発行 | パスワードの再発行

- ③ 入力したメールアドレスに対するアカウントが存在しない場合は、自動的にアカウント作成ページに切り替わります。必要情報（ログイン ID、パスワード、氏名、パスワード紛失時の認証質問内容、会社名、国 / 地域名）を入力してアカウントを作成してください。フローティング・ライセンスを登録した場合は、[ライセンスサーバー情報] を入力する画面も表示されます。
- ④ 登録が完了すると、登録完了の画面が表示されますので内容を確認してください。また入力したメールアドレス宛てに、インテル社からライセンスファイルが添付された電子メールが送信されます。
- ⑤ 受信したライセンスファイル（.lic ファイル）を任意のローカルフォルダーに保存します。

ご注意：ライセンスファイルの拡張子（.lic）は絶対に変更しないでください。またライセンスファイルは日本語を含まないフォルダーに保存することをお勧めします。

- ⑥ 登録ができない、または登録後 24 時間経過してもライセンスファイルが送付されない場合、下記のお問い合わせ窓口より弊社サポートまでご連絡ください。

https://www.xlsoft.com/jp/services/xlsoft_form.html

お願い：エクセルソフト株式会社は、インテル® ソフトウェア開発製品の日本国内正規代理店です。日本語によるカスタマーサポートは弊社より提供していますので、弊社へのユーザー情報のご登録もお願いしております。ご登録をお済みでないお客様は、お手数ですが以下のサイトよりご登録くださるようご協力お願いします。

<https://www.xlsoft.com/jp/products/register/intel.html>

- ⑦ 最後に、再度インテル® レジストレーション・センターにアクセスして、[登録ユーザーのログイン] メニューからログインし、アカウント情報や登録製品を確認してください。

<https://registrationcenter.intel.com/RegCenter/Register.aspx>

製品の登録
有効なメールアドレスと製品のシリアル番号を使用して製品を登録してください。製品を登録することにより、アップデートやアップグレードのダウンロード、テクニカルサポートを利用できます。
+ 必須フィールドを示します

メールアドレス+

メールアドレスの確認入力+

シリアル番号+ 別のシリアル番号を追加
シリアル番号はどこに記載されていますか?
 その他のインテル® ソフトウェア開発製品とトレーニングに関する情報を受け取る。

製品の登録

登録ユーザーのログイン
登録ユーザー：アカウントログインして、登録した製品の確認、アカウント管理、アップデートのダウンロード、テクニカルサポートなどをご利用いただけます。

登録ユーザーのログイン >
ログイン ID の再発行 | パスワードの再発行

6-2. 製品のインストール

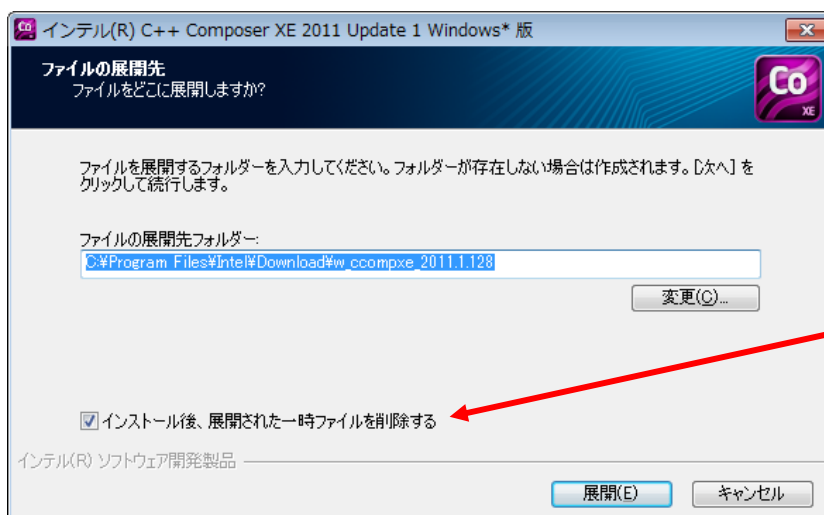
ここでは、x86 システムを使用して本製品のインストール手順を説明します。x64 システムをご利用のユーザーは、“Program Files” フォルダを “Program Files (x86)” フォルダと読み直してください。

① まず、インストーラーを起動します。

- 本製品を DVD メディアからインストールする場合、通常 メディア をコンピューターに挿入すると、自動的にインストーラーが起動されます。もしインストーラーが起動されない場合は、DVD メディア内の “Setup.exe” をダブルクリックしてください。

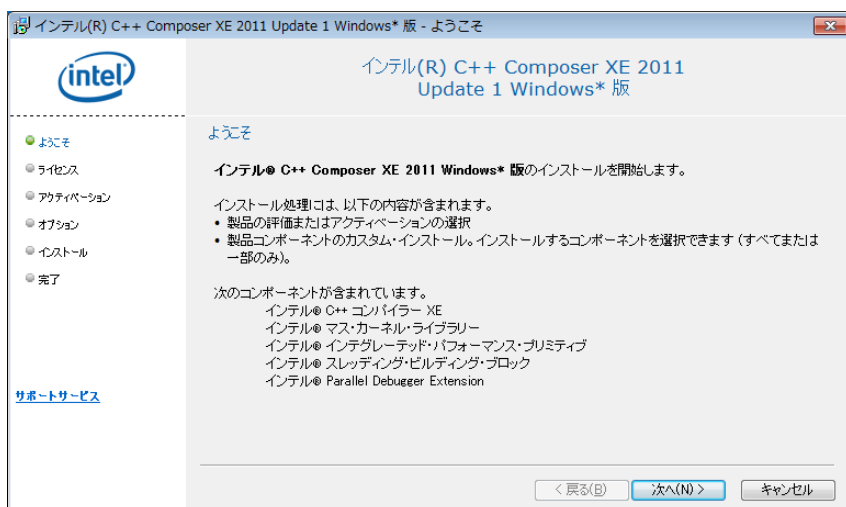
名前	更新日時	種類	サイズ
1033	2010/11/24 17:13	ファイル フォルダ	
1041	2010/11/24 17:13	ファイル フォルダ	
fl	2010/11/24 17:13	ファイル フォルダ	
fnp	2010/11/24 17:13	ファイル フォルダ	
installs	2010/11/24 17:14	ファイル フォルダ	
licenses	2010/11/24 17:14	ファイル フォルダ	
Plugin	2010/11/24 17:14	ファイル フォルダ	
autorun.inf	2008/02/12 1:08	セットアップ情報	1 KB
FNP_Act_Installer.dll	2008/04/07 10:58	アプリケーション拡張	923 KB
libeay32.dll	2010/05/29 0:07	アプリケーション拡張	831 KB
libexpat.dll	2010/05/29 0:07	アプリケーション拡張	155 KB
libssl32.dll	2010/05/29 0:08	アプリケーション拡張	163 KB
MinAxis.dll	2010/11/06 1:00	アプリケーション拡張	375 KB
Setup.exe	2010/11/06 1:00	アプリケーション	2,575 KB
Setup_FNP.dll	2010/11/06 1:00	アプリケーション拡張	2,527 KB
SS_Asr.xml	2010/11/18 13:11	XML ドキュメント	4 KB
ssleay32.dll	2010/09/01 9:15	アプリケーション拡張	163 KB
support.txt	2010/11/18 17:11	テキスト文書	1 KB

- 本製品をダウンロードパッケージ（例：w_ccompxe_2011.1.128.exe）を使用してインストールを行う場合、まずパッケージを任意のフォルダに展開する必要があります。ダウンロードパッケージをダブルクリックすることにより [パッケージ展開ウィザード] が起動されますので、展開先フォルダを指定して、[展開] ボタンをクリックしてください。パッケージの展開が開始され続けてインストーラーが起動されます。なお、デフォルトのパッケージ展開先は “C:\Program Files\Intel\Download\” 配下のフォルダになります。

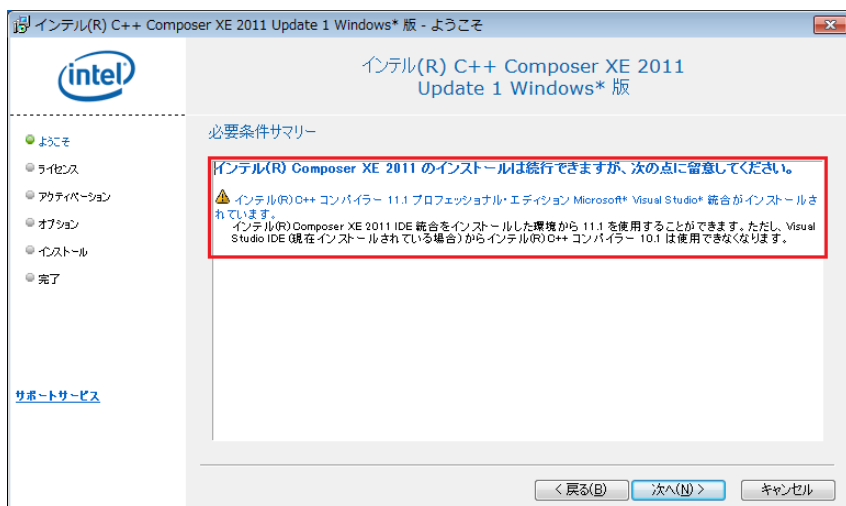


インストール後、展開ファイルを削除しない場合はこのチェックをはずしてください。

- ② インストーラーが起動されると、まず [ようこそ] 画面が表示されます。この画面では、インストーラーの説明やパッケージの内容などが表示されます。[次へ] ボタンで先に進みます。



- ③ 古いバージョンのインテルソフトウェア製品のインストールが検出された場合、下図のようにメッセージが表示される場合があります。メッセージ内容を確認して「次へ」ボタンで先に進みます。(メッセージ内容が不明な場合は、「4. インストールする前に」を参照してください。)

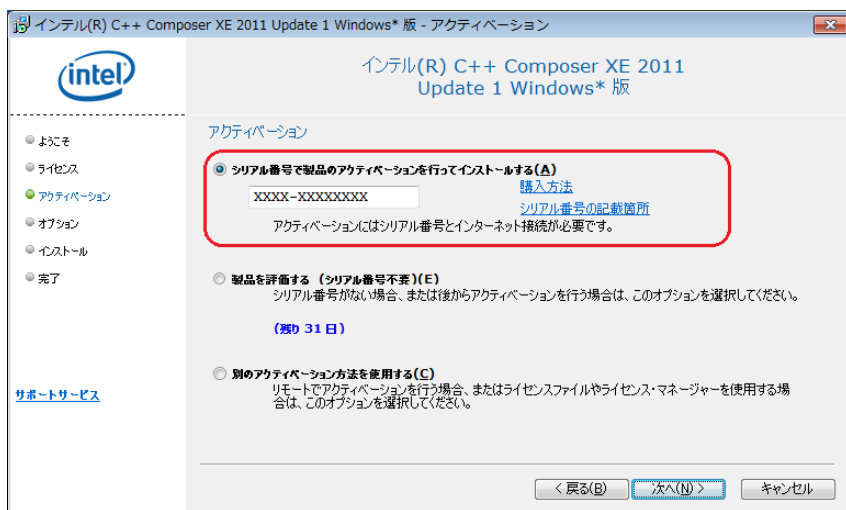


- ④ 次に [ソフトウェア使用許諾契約書] 画面が表示されます。本契約内容に同意した上で [次へ] ボタンをクリックしてください。
- ⑤ [アクティベーション・オプション] 画面が表示されます。製品のアクティベーションにはいくつかの方法がありますが、以下の説明に従って、“シリアル番号”、または“ライセンスファイル”を使用してアクティベーションを行ってください。

なお“既存のアクティベーションを利用する”が表示される場合、この方法を選択してインストールを行っても構いませんが、最新のライセンスを使用してインストールを行うことをお勧めします。

➤ シリアル番号を使用してインストールを行う場合：

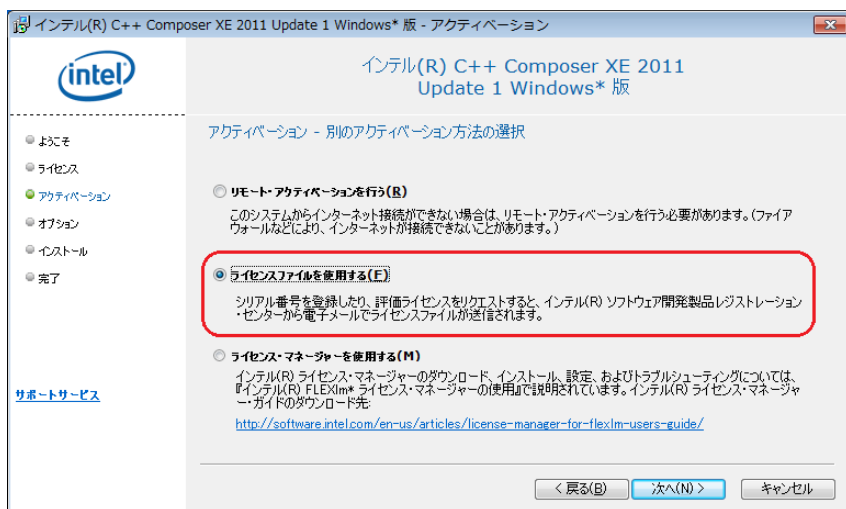
[アクティベーション・オプション] 画面の “シリアル番号で製品のアクティベーションを行ってインストールする” にチェックして、シリアル番号を入力してください。[次へ] ボタンでアクティベーション処理が行われます。




ご注意：このシリアル番号によるアクティベーション処理はインターネットへのアクセスが必要となりますので、ご使用のシステムがインターネットに接続されていることを確認してください。本処理がエラーとなる場合は、ライセンスファイルを使用したインストールをお試しください。

➤ ライセンスファイルを使用してインストールを行う場合：

[アクティベーション・オプション] 画面の “別のアクティベーション方法を使用する” にチェックして、[次へ] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。この画面で、“ライセンスファイルを使用する” にチェックして [次へ] ボタンをクリックすると、[ライセンスファイルの選択] 画面が表示されるので、ライセンスファイルが保存されている場所を指定して [次へ] ボタンをクリックしてください。



 Note : シリアル番号 / ライセンスファイル 以外のアクティベーション方法について説明します。

1) 「製品を評価する (シリアル番号不要)」

このオプションを選択すると 31 日間の製品評価を行うことができます。この場合、シリアル番号やライセンスファイルは使用せず、Windows レジストリー内部で評価期間が管理されます。

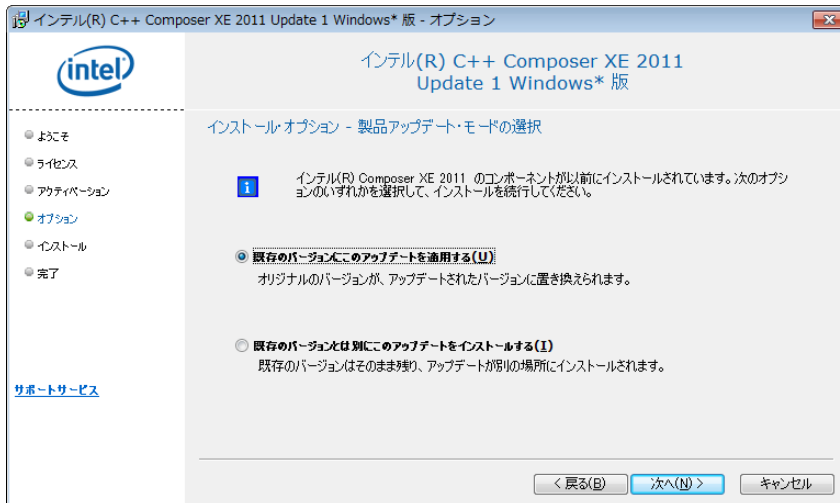
2) 「リモート・アクティベーションを行う」

このオプションは、インストールを行うシステムがインターネットにアクセスできない場合、インターネットに接続されている別のシステムを使用してアクティベーションを行うオプションです。インターネットが利用できないシステムでは、ライセンスファイルを使用したインストールが可能ですので、このオプションを特別使用する必要はありません。

3) 「ライセンス・マネージャーを使用する」

フローティング・ライセンスをご使用の場合、このオプションを使用して本製品をインストールすることが可能です。しかし、一般的には前述したシリアル番号またはライセンスファイルでのインストールを推奨します。なお、このオプションを使用する場合は、あらかじめライセンス・マネージャーが起動され、インストール・システムからアクセス可能でなければなりません。本オプションを選択して [次へ] ボタンをクリックすると、ライセンス・マネージャーがインストールされたサーバーのホスト名とポート番号を入力する画面が表示されます。これらのサーバー情報は、ライセンス・マネージャーをインストールした際に使用したライセンスファイルに記入されています。インストーラーはライセンスサーバーにアクセスしてアクティベーション処理を行います。ライセンス・マネージャーに関する詳細は、『[FLEXIm マネージャー導入ガイド](#)』をご参照ください。

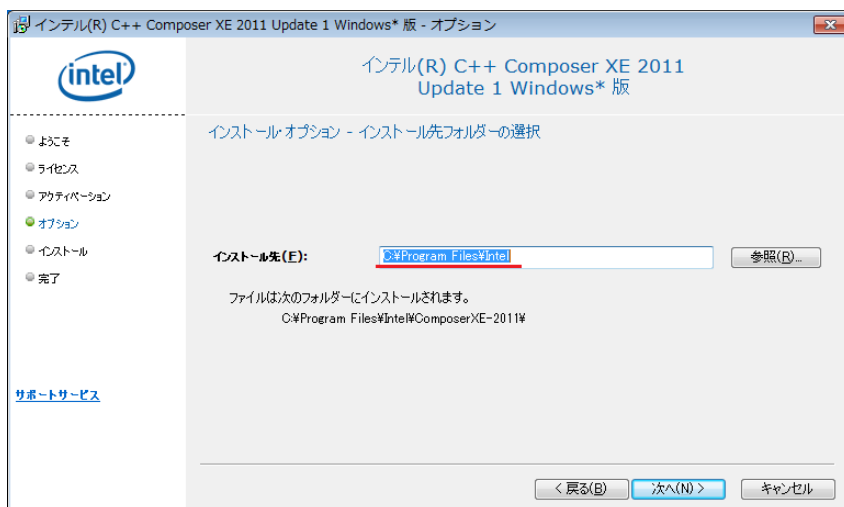
- ⑥ 製品のアクティベーションが完了すると、次に、インストール・オプションの工程に進みます。まず、異なるバージョンのインテル Composer XE 製品のインストールが検出された場合は、以下のような [製品アップデート・モード] の選択画面が表示されます。
- 「既存のバージョンにこのアップデートを適用する」を選択した場合は、既存の製品コンポーネントが、本製品のバージョンに上書きインストールされます。
 - 「既存のバージョンとは別にこのアップデートをインストールする」を選択した場合は、本製品は新たなフォルダーにインストールされ、既存のバージョンと共存させることができます。ここでは、「既存のバージョンにこのアップデートを適用する」を選択した場合を説明します。



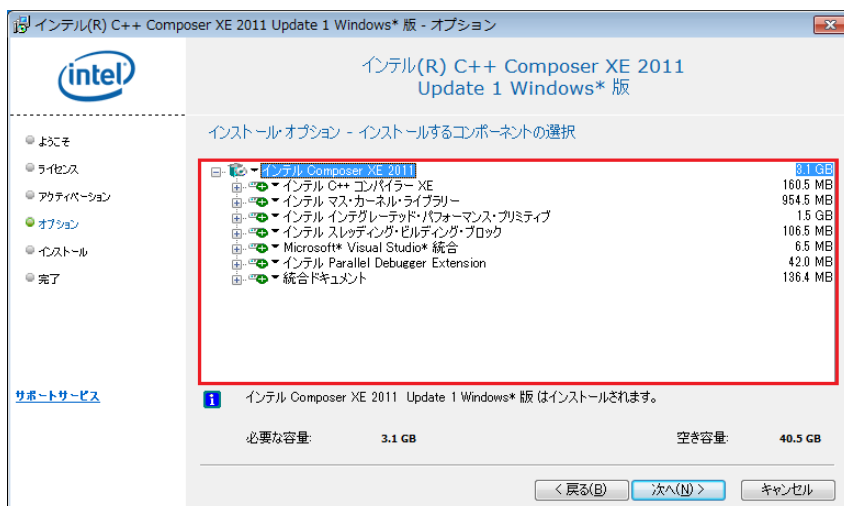
- ⑦ 次に [インストールの種類を選択] 画面が表示されます。ここでは「カスタム・インストール」を選択した場合を説明します。「フル・インストール」を選択した場合は、手順 ⑪ に進んでください。
- フル・インストール …… 本製品に含まれるすべてのコンポーネントがデフォルト設定でインストールされます。通常はこのオプションを選択します。
 - カスタム・インストール … インストールするコンポーネントの選択やインストール先の指定など、各種インストールの設定が可能です



- ⑧ 以下の画面でインストール・フォルダーを指定することができます。デフォルトでは “C:\Program Files\Intel” フォルダ配下にインストールされます。通常はこのデフォルトのインストール・フォルダーにインストールしてください。なお、同じバージョンのインテル Composer XE 製品が既にインストールされている場合は、インストール先フォルダーを変更できません。



- ⑨ 次にインストールするコンポーネントを選択することができます。



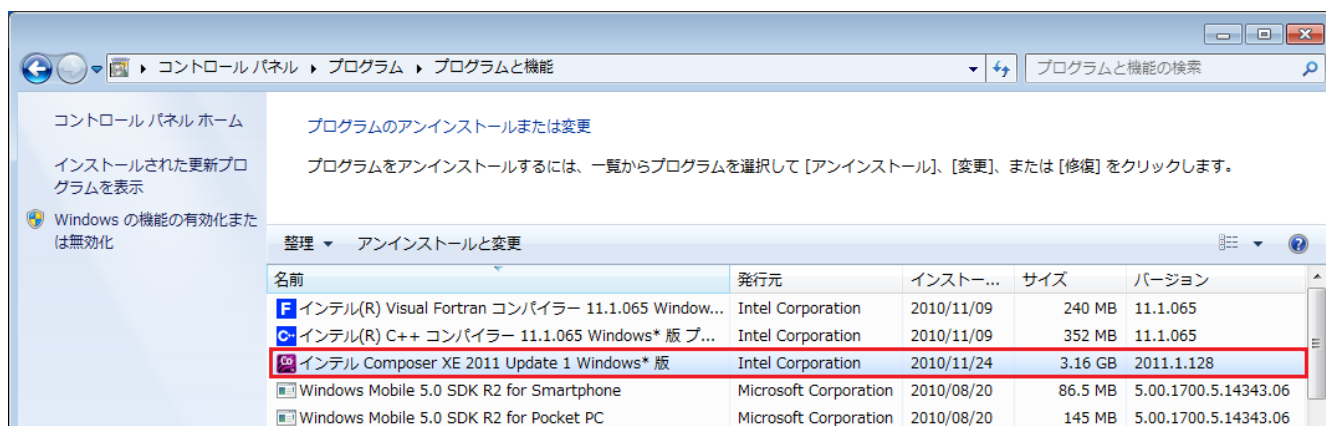
- ⑩ 次に、本製品を統合する Visual Studio を選択します。複数の Visual Studio がインストールされている場合は、以下のように統合する Visual Studio を複数選択することも可能です。



- ⑪ 次に、インストール設定内容のサマリーが表示されます。内容を確認して [Install] ボタンをクリックしてください。それぞれのツールのインストールが開始されます。
- ⑫ インストールが完了すると、[インストール完了] 画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックしてインストーラーを終了してください。

7. プログラムの追加と削除

本製品をアンインストールする場合やインストール・コンポーネントの変更を行う場合は、[コントロールパネル] から [プログラムの追加と削除] または [プログラムのアンインストール] (Vista/Windows 7 の場合) を起動して、インストールした製品 (例: インテル Composer XE 2011 Update 1 Windows* 版) を選択してコンポーネントの追加/削除を行ってください。



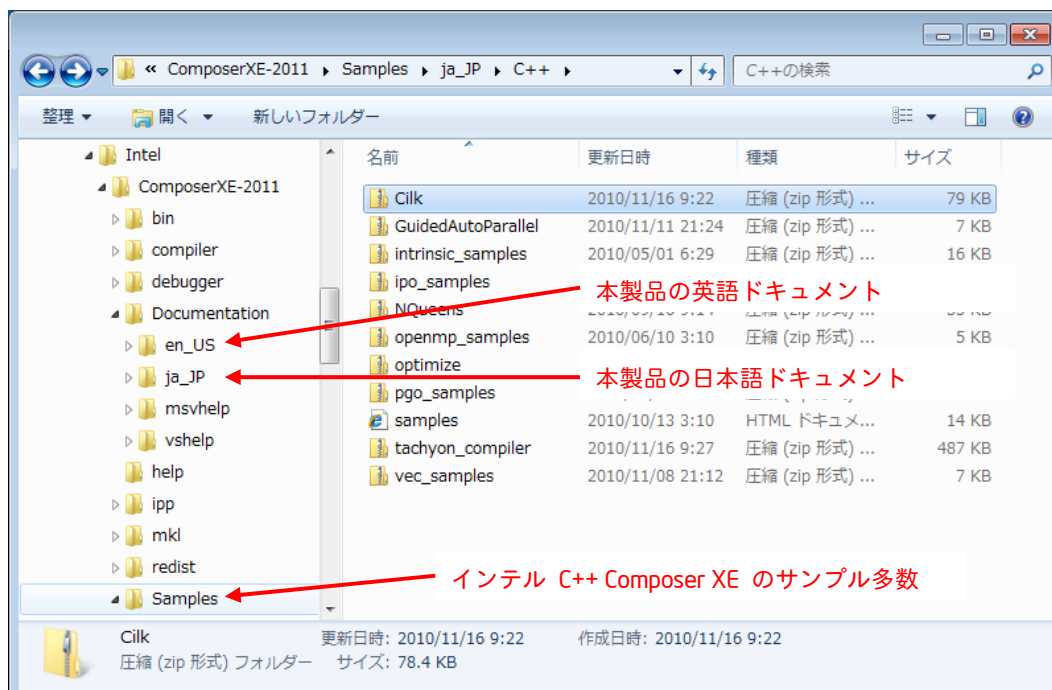
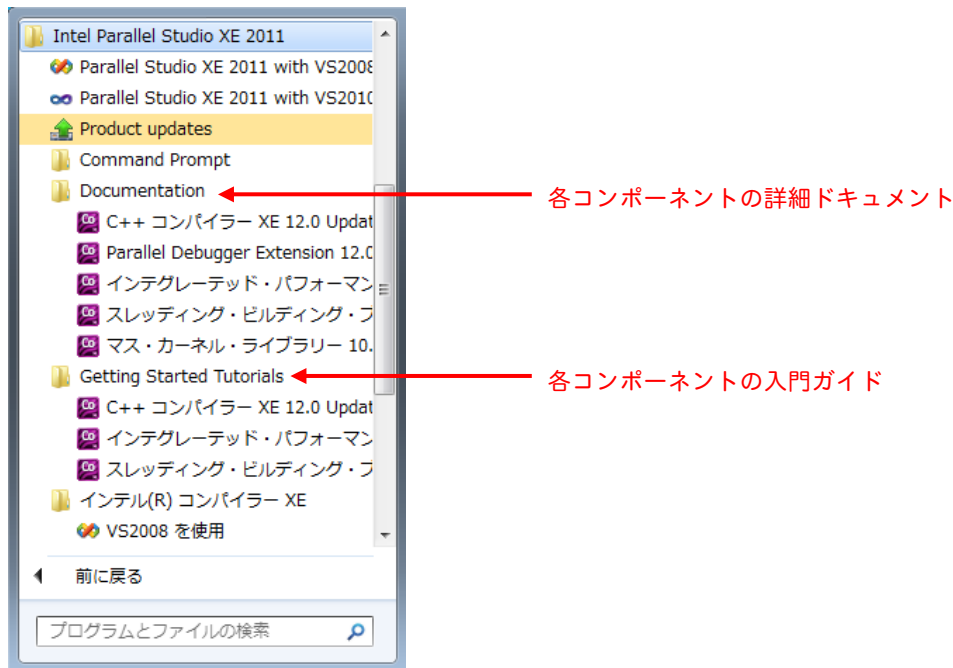
本製品のアンインストールと変更画面では、下図のように、「変更」、「修正」、「削除」のいずれかを選択してコンポーネントの追加や削除などを実行することができます。



また上のダイアログは、製品のインストーラ (“setup.exe”) を再度起動して表示させることもできます。

8. 最後に

本製品には、各コンポーネントのチュートリアルやドキュメント、またサンプルコードが多数含まれていますのでご参考ください。



インストール作業で問題が発生した場合、またその他ご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ窓口より弊社サポートまでご連絡ください。

https://www.xlsoft.com/jp/services/xlsoft_form.html